

しんこうせいかつ げんそく
信仰生活の原則



実践編 (じっせんへん)

テキスト P70~81

1

かみ しん すく あと せいちょう かんが
神を信じて救われた後、クリスマンとして成長していくことを考えたことがあ
りますか？ あなたは成長したいですか？

2

よ せいちょう ひつよう しゅうかん
P71 ~ 81 まで読んで、クリスマンとして成長するために必要な7つの習慣で、
じぶん いちばんむずか かん なん
自分が一番難しく感じるものは何ですか？

3

しゅうかんが かんが
どうしたら習慣化できるか考えてみましょう。

復習タイム

- ◆ 聖書は神の「^{せいしょ かみ}」です。「^よ」読みましょう。分からないところを飛ばして、ひとまず聖書を「^よ」読んでみましょう。「^よ」などで学ぶことも良いですが、「^よ」にどのように語っておられるか、思い巡らすことが大事です。(参照：P71～72)
- ◆ 祈りは神と人間の「^{いの かみ にんげん}」です。まず「^よ」と呼びかけ、神をほめたたえ、神からの恵みに「^よ」し、「^よ」を悔い改めたり、「^よ」を言ったり、他者の為の「^よ」をしたりして、最後に「^よ」と結びます。聖霊によって祈り、「^よ」でも祈りましょう。(参照：P73～75)
- ◆ 礼拝はクリスチャンが集まって神を「^よ」し、「^よ」をいただき、祈り、献金する大事な時です。休まず、「^よ」しないで行きましょう。「^よ」など諸集会にもできるだけ出席しましょう。(参照：P75～76)
- ◆ 奉仕は教会を形成し自分の信仰を「^よ」させます。教会はあなたの奉仕を「^よ」としています。それは「^よ」や強いられて行うものでなく、「^よ」をいただくものです。(参照：P76～77)
- ◆ クリスチャン同士の交わりはお互いを成長させます。互いに「^よ」合い、「^よ」を高め、救われたこと、「^よ」の恵みや感謝を語り合しましょう。(参照：P77～78)
- ◆ 誰かに伝道することはキリストから与えられた「^よ」です。「^よ」に誘ったり、自分の救いの「^よ」や、主イエスの「^よ」を語っていきましょう。(参照：P78～79)
- ◆ 私たちは誰かの献金によって救われました。「^よ」の為に、教会の維持運営のために、感謝と喜びを持って捧げましょう。「^よ」献金、「^よ」献金、「^よ」献金、「^よ」献金などがあります。(参照：P79～80)

いの お祈り

てん かみさま しゅうかん み わたし しんこう せいちょう
 天の神様、7つの習慣を身につけて私の信仰を成長させてください。
 いの み な いの
 い。御名によって祈ります。アーメン。



実践編 (じっせんへん)

テキスト P82~93

きょうかいせいかつ しんこうせいかつ なに こま お わ ほくし
教会生活、信仰生活で何か困ったことが起こったり、分からないことがあったら、牧師
に聞きよく相談しましょう。また良い信仰の先輩や同じような経験をした方の証を聞く
のも良いことです。そして自分でも祈り、教会でも祈ってもらいましょう。

1

あなたには教会生活を送っている中で問題が生じたとき、相談したり、祈ってく
れる人がいますか？

2

P82 ~ 93 まで読んで初めて知ったり、心に残ったことはどんなことでしたか？

3

関連して新しく湧いた疑問や、もう少し尋ねてみたいことが何かありますか？

4

ひとりが質問者、ひとりが答える役になって、分かるように説明できるか、ロールプ
レイをしてみましょう。

復習タイム

- ◆ 洗礼は「^{せんれい}」の表明ですから受けるべきです。「^{ひょうめい}」
などで学びましょう。(参照：P82～83)
- ◆ 洗礼を家族に反対されたら理由を聞き、「^{かぞく}」は避けて、受けたいことを穏
やかに話しましょう。信教の「^{しんきょう}」が法律にあるので、洗礼は自分で決めら
れますが、家族と悪い関係にならないように気を付けましょう。
(参照：P83～84)
- ◆ 礼拝に出席できない時は牧師に知らせ、他の「^{れいはい}」や曜日、ネットなどを
利用して礼拝できるように工夫しましょう。(参照：P84～85)
- ◆ 遅刻は一つになっている参加者の礼拝への心をそらしてしまうかもしれません。し
ないよう気を付け「^{ちこく}」分前には教会に着いていましょう。また
遅刻される方は事情があるかもしれないので祈りましょう。(参照：P85～86)
- ◆ 日曜日が休みでないクラブ活動や仕事を選ぶときは、それが神様の御心かどうかを
まず祈りましょう。また礼拝を守る工夫をし、クリスチャンとの「^{にちようび}」
も行えるようにしましょう。(参照：P86～87)
- ◆ 奉仕は強いだけでなく、「^{ほうし}」をもって行いましょう。頼まれたらやっ
てみることも大切ですし、きちんと引き次いで止めることも可能です。教会員になっ
ただかりの人が奉仕を行い過ぎたり、「^{おこな}」より奉仕に重点が置かれそうな
ら断ることも出来ます。(参照：P87～88)
- ◆ 自分にもできる奉仕は必ずあります。「^{じぶん}」が何か見つけていきましょう。
(参照：P88～89)
- ◆ 礼拝だけでなく交わりも大切です。礼拝後少し残ったり、平日やルールを守って
「^{れいはい}」などを利用し、良い交わりを持ちましょう。(参照：P89～90)
- ◆ どうしても苦手な人が出来てしまったら、まず祈って、「^{にがて}」は工夫しても
休まないようにしましょう。(参照：P90～91)
- ◆ 教会の信徒グループは交わり（お互いの成長）と「^{きょうかい}」の為に大事な活動です。
グループに属することに抵抗があるならば、その理由を見つめ、問題の解決を図り
ましょう。(参照：P91～92)
- ◆ 集会以外にも教会に来て良いかは教会によって違いますので牧師に気軽に聞いて
みましょう。自由に來れる教会でも牧師の働き「^{しゅうかい}」にはならないように
気を付けましょう。(参照：P92～93)

いの お祈り

天の神様、教会生活の中でいろいろな疑問や悩みが出てきても、祈って乗り
越えて行けますように。助け手となってくれる先生や兄 姉 がいることを
感謝します。御名によってお祈りします。アーメン。



実践編 (じっせんへん)

テキスト P93~100

きょうかいせいいかつ しんこうせいいかつ なに こま
教会生活、信仰生活で何か困ったことが起こったり、分からないことがあったら、牧師
ほくし
に聞きよく相談しましょう。また良い信仰の先輩やおなじような経験をした方の証を聞く
き そうだん よ しんこう せんぱい おな けいけん かた あかし き
のも良いことです。そして自分でも祈り、教会でも祈ってもらいましょう。
よ じぶん いの きょうかい いの

1

あなたにとって献金けんきんはどのようなイメージがありますか？

2

P93 ~ 100 まで読んで初めて知ったり、心に残ったことはどんなことでしたか？

3

かんれん あたら わ きもん すこ たす なに
関連して新しく湧いた疑問や、もう少し尋ねてみたいことが何かありますか？

4

ひとり しつもんしゃ ひとり こた やく わ せつめい
一人が質問者、一人が答える役になって、分かるように説明できるか、ロールプレイをしてみましょう。

復習タイム

- ◆ 献金は自由で「^{てき}」的なものではありませんが、教会の活動費は必要です。「^{たい おこな}」に対して行っていると確信して自分で決めて行いましょう。
(参照：P93～94)
- ◆ 十分の一献金をするのが難しい時は、自分の「^{まも}」が守られることを祈りましょう。そして牧師にも話して祈って戴きましょう。(参照：P94)
- ◆ 十分の一献金は額面か手取りかと考えるより、信仰により、感謝と「^{いの}」の視点で考えましょう。(参照：P94～95)
- ◆ 経済的に厳しくても、献金することは良いことですが、神が私たちの経済を見過ごされないと信じると共に、「^{たいせつ}」を大切に、それをどのように使うかを考えましょう。(参照：P95～96)
- ◆ なかなか祈れないと思う人は「^{いの}」をするように祈りましょう。御言葉に応答したり、「^{いの}」をもって祈ったり、黙って主の前に出るだけでも祈りになっているのです。(参照：P96～97)
- ◆ 聖霊の「^{もと}」は求めましょう。でも異言にこだわらず、神をたたえ、「^{いの}」し、とりなしの祈りをし、祈り込んでみましょう。そして聖霊に委ねていきましょう。(参照：P97～98)
- ◆ 経済的に厳しくてもできる限り「^{かぎ}」はせず、どうしてもしなければならぬときは安全な所(公的機関)から借り、信徒間ではしないようにしましょう。もし行方なら「^{ようい}」などを留意し、トラブルにならないようにしましょう。
(参照：P98～99)
- ◆ 教会で個人的に何かを販売するのは難しいでしょう。お金に関わることは「^{いの}」にするべきです。(参照：P100)

いの お祈り

天の神様、救われて献金のできる者となれたことを感謝します。喜びもって捧げ、喜びもって祈れますように。どうぞ私たちを豊かにしてください。御名によってお祈りします。アーメン。

CHAPTER
3

れんあい けっこん
恋愛・結婚



実践編 (じっせんへん)

テキスト P102~108

れんあい けっこん とうじしゃふたり もんだい かんが けっこん かみ あ ほくし
恋愛、結婚は当事者二人の問題と考えがちですが、神が合わせてくれたものであり、牧師
そつだん いの
によく相談して祈っていきましょう。

1

あなたはキリスト教とそうでない結婚式に出席したことがありますか？ どんな違
いと感想を持っていますか？

2

これから結婚する人や結婚するこどもや孫をもっている人は、キリスト教で
結婚式を挙げたいと強く願いますか？

3

なぜ離婚になるのだと思いますか？

4

離婚しない秘訣、幸せな結婚をする秘訣は何だと思いますか？

復習タイム

- ◆ 好きな人が出来たら早めに牧師に相談し、「しょうかい」を紹介してもらって二人で読み、正しい交際をしましょう。デートで「てき ふたん」的な負担をかけないようにし、帰りも遅くならないようにしましょう。(参照：P102～103)
- ◆ 未信者の人と交際していたら、キリストを信じるように伝道し、礼拝に出席してもらって、牧師とも会って親しくなってもらいましょう。信仰の一致は「いっち」の一致です。(参照：P103)
- ◆ 結婚を決めたら相手が未信者でもキリスト教で式を挙げ、牧師が「いっち」をするように求めましょう。式までの流れを牧師から教わり、「いっち」を受けましょう。結婚式で神の前に「いっち」をすることはとても重要なことです。結婚後のことも牧師と話し合ひましょう。(参照：P104～105)
- ◆ 結婚式についてですが、式は神への誓約が中心で大きな違いはありません。でも「いっち」は無や規模の大きさ、場所、費用など個人差があります。「いっち」の意向も含め、二人でよく話し合って決めましょう。教会に「いっち」があるかを確認し、結婚感謝献金や、司式者、奏楽者などへのお礼も考えておきましょう。(参照：P106～107)
- ◆ 離婚は良くないですが、事情によってさまざまな判断がなされる問題です。何度でも時間をかけて牧師や信仰の先輩に相談し、祈りましょう。多くの「いっち」が伴うので軽く考えてはならないことです。
(参照：P107～108)
- ◆ 離婚は「いっち」です。でもキリストの赦しがあります。真摯に祈り、悔い改め、相手に誠意を尽くす者でありましょう。(参照：P108)

いの お祈り

天の神様、結婚式において神の前で誓約できることを感謝します。神が合わせてくださったと確信を持って、それぞれの家族が祝福されますように。主の御名によって祈ります。アーメン。

CHAPTER
4

かてい
家庭



実践編 (じっせんへん)

テキスト P110~116

1

あなたの^{かてい}家庭はクリスマンホームですか？ クリスマンホームになることを願^{ねが}いますか？

2

あなたはどんなクリスマンホームを^{きず}築きたいですか？

3

P110 ~ 116 まで^よ読んで、自分が今、一番力を注ぎたいものは何でしたか？ その^{ため}に^{くたいてき}具体的に行おうと思^{おも}ったことがありますか？

4

^{かてい}家庭について^{しつもん}質問や^{なや}悩みがあったら、(^い言える^{はんい}範囲で) ^{はな}お話してください。

復習タイム

- ◆ クリスマンホームはクリスマン夫婦でできますが、その家庭にいつもキリストがおられるということです。「
家庭で行い、子どもが与えられたら「
てましよう。家族そろって教会の「
(参照：P110～111)
- ◆ クリスマン夫婦であっても意見が合わないことはありますが、伴侶の意見、
伴侶そのものを「
(参照：P111～112)
- ◆ 聖書的な子育てとは、神を「
が「
う。教会学校などでもを他の大人から教えられことが大事であり、子どもがやがて「
う。(参照：P112～113)
- ◆ 献児式とは、子の心身の健康と霊的「
託された子として育てていく「
(参照：P113～114)
- ◆ 子どもが礼拝中静かに出来なくても「
は大切な「
きましょう。(参照：P114～115)
- ◆ 家族の救いは、神のみこころですので、救われることを信じて祈り、愛をもって
接し、「
(参照：P115～116)

いの お祈り

天の神様、神様がまだ信仰を持っていない私たちの家族を救ってくださり、
素晴らしいクリスマンホームを築けますようお願い致します。御名に
よって祈ります。アーメン。

CHAPTER
5

しごと
仕事



実践編 (じっせんへん)

テキスト P118~122

1

あなたは職場で、どの位、神様のことを思い出しますか？

2

あなたがクリスチャンであることを、職場のどの程度の人々が知っていますか？

3

あなたは職場で証しや伝道ができますか？言葉で言えないけれども何かで信仰をあらわ表していることがありますか？

4

仕事について質問や悩みがあったら、(言える範囲で)お話してください。

復習タイム

- ◆ 仕事を**選ぶ**ときは、出来るなら「**まも**」が**守**れ、「**あた**」が与えて下さったと確信でき、それによって主のために働いている実感があるものを祈って選びましょう。(参照：P118～119)
- ◆ 転勤がある場合は、牧師とよく相談し転勤先で出席する教会を決めましょう。「**きょうかい**」や「**き**」をどうするかも相談しましょう。(参照：P119)
- ◆ 仕事で礼拝に出席できない場合はどこかで礼拝の**とき**を持ち、「**き**」は聞くように心がけましょう。(参照：P119～120)
- ◆ 職場で神棚参拝や地鎮祭などを行わなければならない時は、他の方のなさることを「**わたし**」しないで、『私はクリスチャンなので自分なりの祈り方でさせていたきたい』と言える**よ**いかもしれません。偶像礼拝を**しない**でいられるよう、神の**まも**りを祈りましょう。(参照：P120～121)
- ◆ 仕事上お酒を勧められたら、「**ことわ**」に断り、お酒によらない**たの**しい付き合**っ**きをしていくことが大切**です**。(参照：P121)
- ◆ 職場の人間関係が上手**く**い**か**なくとも、「**じっせん**」ことを実践し、その方の救いと「**いの**」を祈りましょう。うわさ話、「**ばなし**」、悪口**な**どの仲間には入らず、聞いても「**き**」しないようにしましょう。(参照：P121～122)

いの お祈り

天の神様、神様が職場の中の色々な事柄の内にも働いて下さることを感謝します。世の中に流されないで、クリスチャンとして、良い影響を与えられますように。アーメン。

CHAPTER
6

そうぎ はか
葬儀・墓



実践編 (じっせんへん)

テキスト P124~128

1

あなたはキリスト教きりすときょうの葬儀そうぎに出席しゅっせきしたことがありますか？ どのようなことことが心こころに残り
ましたか？

2

あなたは仏教ぶつぎょうの葬儀そうぎに参列さんれつした時とき、クリスマンとしてどのように臨のぞんだら良い
か知しっていましたか？ 分わからないことがありますか？

3

あなたは遺言状ゆいごんじょうを書いて、同じものものを家族かぞくと牧師ぼくしに渡わたしてありますか？

4

葬儀そうぎや墓はかについて質問しつもんや問題もんだいがあったら、(言える範囲いはんいで)お話しはなしてください。

復習タイム

- ◆ 仏教の葬儀に参列する時は、「^{ぶつきょう そうぎ さんれつ} ^{とき} ^{しょうこうだい} ^{ところ} ^{いぞく} ^{なくさ}」をせず、焼香台の所で、ご遺族の慰^めを天地創造の神に祈りましょう。葬儀ではできる限り「^{てんちそうそう} ^{かみ} ^{いの} ^そ ^{うぎ} ^{かぎ}」をす^るのが良いでしょう。(参照：P124～125)
- ◆ クリスマンになって檀家^{だんか}を止めたい場合は寺^{てら}に、墓^{はか}を処分^{しょぶん}する場合は「^そ ^{うだん} ^{てつづ}」に相談^{さうだん}し、手続き^{てつづ}をしましょう。キリスト教の葬儀^{きょう}では「^そ ^{うぎ}」の墓地^{ぼち}に埋葬^{まいそう}できないこともあります。前^{まえ}もって調^{しら}べておきましょう。(参照：P125～126)
- ◆ 未信者^{みしんじや}の家族^{かぞく}の方^{かた}でも亡^なくなった時は、「^そ ^{うぎ}」で葬儀^そ ^{うぎ}をしていただけるよう、他の家族^{ほか}や親戚^{かぞく}に了解^{しんせき}を得^りましょう。牧師^{ぼくし}とすぐ相談^{さうだん}して式場^{しきじょう}や葬儀社^{そうぎしゃ}の手配^{てはい}をしましょう。(参照：P126)
- ◆ キリスト教では『〇回忌』というものはなく、「^{きょう} ^{かいき}」という呼び名^よ ^なで自由^{じゆう}に行^{おこな}うことができます。未信者^{みしんじや}の親族^{しんぞく}に配慮^{はいりょ}して記念会^{きねんかい}を行^{おこな}うことも大切^{たいせつ}です。(参照：P127)
- ◆ 家族^{かぞく}が未信者^{みしんじや}の方は、自分^{かた}が亡^{じぶん}になったらキリスト教^{きょう}で葬儀^そ ^{うぎ}をし、「^{ぼくし} ^{きぼう}」として牧師^{ぼくし}を希望^{きぼう}することを「^か」に書き^か、家族^{かぞく}と牧師^{ぼくし}に預^{あず}けておくと良いでしょう。(参照：P127～128)

いの お祈り

天^{てん}の神様^{かみさま}、自分^{じぶん}が天^{てん}に召^めされた時^{とき}に、葬儀^{そうぎ}を通して証^と・伝道^{あかし}ができることを感謝^{かんしゃ}します。自分^{じぶん}が葬儀^{そうぎ}に参列^{さんれつ}する時^{とき}も、正しい^{ただ}ふるまいをしてあなたを悲^{かな}しませることがありませんように…。復活^{ふっかつ}の主^{しゅ}に感謝^{かんしゃ}して、御名^{みな}によって祈^{いの}ります。アーメン。

CHAPTER きょうかいかん
7・8 教会間のことで・その他



実践編 (じっせんへん)

テキスト P130~138

1

あなたの教会の良い所はどこですか？ 他の教会に行ってみたいと思うことはありますか？

2

他の教会のクリスマンの友人を持っていますか？ 良い点、あるいは気を付けた方がよいことなど感じたことがありますか？

3

まだ言っていないが、牧師に話しておいた方がよいとおもっていることがありますか？

4

キリスト教についてどんなことでも疑問や質問があったらお話しください。

復習タイム

- ◆ 教会を移りたいときは牧師に相談しましょう。手続きとしては「 」になります。仕事などの理由でなく、教会を転々とするのは良くはありません。(参照：P130～131)
- ◆ 他教団、他教派に移りたいときは牧師によく話をし、理解の上、転籍の手続きに入るようにすべきです。「 」の違いをよく調べておきましょう。(参照：P131～132)
- ◆ 出張や旅行で他の教会の礼拝に出席したいときは、牧師に連絡し指示を受けると共に、自分の教会の特別な「 」にぶつからないようにしましょう。他の教会のイベントに出席したいときも牧師とよく相談し、その教会の「 」にならないようにしましょう。(参照：P132)
- ◆ 他の教会の信徒と交流を持ちたいときは母教会と相手の教会の牧師の「 」を得ましょう。やり取りは神の前に出せるものであるべきです。クリスチャンの良い友人となりましょう。(参照：P133)
- ◆ 教会で体調が悪くなったりしたときの為に、自宅や連絡先、かかりつけの病院や大事な「 」など牧師に伝えておきましょう。(参照：P134)
- ◆ 心の病があって、伝道、奉仕、交わりが難しい時は、牧師に自分の状況を説明して、「 」ところから行ったら良いでしょう。まずは病の回復を第一にしましょう。(参照：P135～136)
- ◆ 教会では「 」活動は控えましょう。(参照：P136)
- ◆ 病気になったとしても、神は見放したりしません。癒しを神に祈りましょう。休息が必要なかもしれませんが、病の中でも神の臨在を覚えたり、他の病人のとりなしの祈りをしたり、看病して下さる方々への「 」と祝福を祈りましょう。(参照：P137～138)

いのちのお祈り

天の神様、神様がこの教会に導いて下さったことを感謝します。何でも牧師先生に相談し、信仰の先輩である良い兄弟を見習い、互いに祈り合って、恵み豊かな信仰者になしてください。アーメン。